

## 東洋建設グループの「ガバナンス」における基本的な考え方

当社は経営理念の実現に向け、

「人を育て」「問題に向き合い」「付加価値生産性を高める」ことを基本方針に定め、

なかでも、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の最重要課題のひとつと位置付け、

経営環境の変化に迅速に対応する最適な経営体制の構築に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンスを充実させ、経営の効率性・透明性を確保することが企業価値を高め、

株主をはじめとするステークホルダーや社会全般から信頼される企業として存続する基盤になると考えています。

### 東洋建設グループのマテリアリティ

## ガバナンス体制の強化継続

#### 選定した理由

東洋建設グループのサステナビリティは、「経営理念に基づき行動規範を遵守し、社会とよりよい関係を保ちつつ、公正で信頼される事業活動を展開することにより、持続可能な社会の発展に貢献していくこと」と規定しています。

公正で信頼される事業活動の展開には、ガバナンス体制を継続して強化していくことが必要不可欠であり、またプライム市場上場企業として社会から評価を得るためにも、当社は不断の努力を続けてまいります。

#### 取り組み内容

##### ■ガバナンスの強化

公正で信頼される事業活動を展開するためには、ガバナンスの強化は必要不可欠である。

##### ■コンプライアンスの徹底

東洋建設グループ役職員が、建設業法や独占禁止法、安全衛生法といった各種法令を遵守することで、公正で信頼される事業活動が可能となる。

##### ■サプライチェーンのESGへの取り組み推進

より良い社会の構築には、取引先、協力会社等サプライチェーンのESGの取り組みが必要であり、当社グループも積極的に関与していく。

##### ■情報セキュリティの強化

情報漏洩や大規模なコンピュータウイルスの感染、サイバーテロ、ホームページのハッキング等が起こった場合、ステークホルダーからの信頼や社会的評価が著しく毀損しかねず、継続的な対応は必須である。